

野の花だより

～障害者差別解消法がスタートしました～

理事長 大内 邦子

今年も厳しい暑さが近づいてまいりました。平素は地域のみなさまを初め、関係の皆様には格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年度 4 月に、いよいよ障害者差別解消法がスタートしました。「障害のある人もない人も互いにその人らしさを認めあいながら、共に生きる地域社会を」の私たちの思いが法律となりました。

ここで私たちは、障害を持つ人たちの支援者として、今一度立ち位置を振り返り、しっかりと踏みしめ、行動していかななくてはなりません。

支援者として切磋琢磨してまいります。今後ともますますのご支援をお願い申し上げます。



日帰り旅行 in 徳島、引田!!



毎年恒例の「日帰り旅行」。これは野の花の利用者とその家族、そして職員それぞれが交流を図るために行われています。今年は丸亀市共同募金会より保護者会が助成をいただき、6月はじめの3日間で総勢109名が参加しました。徳島県の大谷焼の窯元を訪れ、絵付け体験をしたり、引田の街並み散策をしました。幸運なことに3日間ともお天気にも恵まれ利用者さんは普段できない経験をし、楽しまれたかと思えます。職員と保護者の方々との交流もあり有意義な旅行となりました。また来年もたくさんの方々と交流ができることを楽しみにしています。



ルーオピニオン

相談支援専門員 鈴木美里

野の花で相談支援の仕事をしてもらって7年目になります。昨年一年間育休をいただいて5月から復帰させて頂きました。前からですが、毎日昼休みにみなさんとごはんを食べたりして一緒に過ごす事が、私にとって楽しみな時間になっています。

みなさんはストレングスモデルという言葉を知っていますか。私たちは不得意や苦手な部分に視点を置いて支援しがちですが、そうではなくその人が、元来持っている強さ、力、得意に着目して、それを引き出して活用していくという考えです。

そのためにはみなさんのことをよく知ることが大切です。毎日のみなさんとのやり取りや会話、活動、家族からの話の中で、こんなことが得意なのか、これを見ると目が輝くなあ等毎日気付かされるのが沢山あります。みなさんの得意や不得意をよく知ることで、良好な関わり方や支援の方向が見えてくると思います。

直接支援に比べて、相談支援の仕事は、一人一人の方とじっくり話をする機会が少なく、計画を作成する上で悩んでしまうこともあります。知ろうとする耳、気付こうとする目を大切にして、みなさんのこれは好き、あれは嫌、こんなふうになりたい、こんなことがしたい、どうしよう、に少しでもお手伝いができたらと思います。

これからもどうぞ宜しくお願い致します。

香川県健康福祉部部長激励訪問

5月19日(木)に県健康福祉部部長高木様が激励訪問に来て下さいました。日頃どんなことをしているのかを見学されて、激励の言葉を頂きました。野の花からは代表の利用者さんがどんなことを頑張っているのかとお礼の言葉を述べた後、継続支援B型と生活介護から一人ずつ前に出てプレゼントを頂きました。みんな真剣な表情で県健康福祉部部長のお話を聞き、「皆さんにプレ



ゼントがあります」という言葉に目を輝かせていました。

頂いた商品券は、野の花での活動に役立たせていきたいと思っております。ありがとうございました。

ご厚志 ありがとうございます!!

イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン、篠塚昌枝、千田允子、美馬貞子、岡本久二代、山下瑞穂、牛川和典、野田登代子、宮井位月、滝典代、杠真由美、宮田香代子

敬称略、順不同

野の花夏祭り開催決定!!

日時:7月29日(金) *荒天時中止

ステージ:和太鼓演奏、フラダンス、書道パフォーマンス、踊り、フォークソンググループ

バザー:うどん、フランクフルト、焼きそば、お好みバー、かき氷、ジュース、ポップコーン、野の花パン など

生活介護

生活介護では、3月末から4月初めにかけて、善通寺五岳の里市民集いの丘公園へ4グループに分かれてお花見に行きました。3月末は桜は少し早かったのですが、シデコブシの花やパンジーなどが咲いていて桜とは違う華やかさがありました。後半の二日間はちょうど桜が見ごろで、特に最後の日には花びらのじゅうたんもできていました。

「咲いているねー」「きれいだねー」といいながら公園内を歩いた後、芝生の上でお弁当を食べました。桜が風に舞って、お弁当に彩りを添えていました。ご飯を食べた後は、自由時間として、三々五々、お茶やジュースを飲んでほっと一息ついたり、公園内を見て回ったりしました。公園内はとても広く、遠くまで散策してヤギを見て帰ってきたグループもいたようです。みんなそれぞれ



春を楽しみ、無事に野の花に帰ってきました。帰って来て、他の利用者さんに楽しそうに見たり感じたりしたことを話している利用者さんも……。次はどこに行くのか楽しみにしててくださいね。



就労継続支援 B 型



5月の土曜開所日に、観音寺方面へ散策に行きました。景色を眺めたり、話したりしているうちに観音寺到着。初めに寛永通宝を見学。観光客も多い中、販売車のアイスを買って食べたりしながら、思い思いに楽しい時間を過ごしました。

昼食は、茶屋ガーデンへ。想像以上に食事量が多く、食べられる

かどうか心配でしたが「美味しいね!」と、あっという間に完食。昼食後は紫雲出山の展望台へ向かいました。道中、坂道が長く「しんどいね」と足が止まってしまう場面も見られましたが、励ましあいながら、展望台まで上がることが



出来ました。展望台では、鐘を鳴らし、それぞれお願いごとをすることができたようです。

帰りの車中では、ジュースと銘菓「観音寺」を手に、楽しかったことを話したり、疲れた人はぐっすりと寝ていたり。それぞれに楽しい一日を過ごすことができました。



就労移行

今回は、施設外就労について報告したいと思います。5月に香川県社会就労センター協議会（SEL P）募集のにんにく収穫作業に行ってきました。就労移行支援利用者Mさんと、継続B型利用者さん数名の応援を得て、車2台で行きました。作業工程は、抜き取り作業の後、茎を5cm程度残し切り取りキャリアに入れていきます。にんにくは、畑の畝に植わっています。足元が悪い中、しかも天気も良く汗をかきながら一生懸命抜きました。1畝抜き終わると、はさみが使える利用者さん



は、茎切りに移ります。抜き取り作業が向いている方はそのまま続けました。Mさんはどちらもできますが、(最近気になるお腹のせいかな?)抜き取り作業の方が良かったようです。残す茎は、長すぎても短すぎても良くありません。安定して切りそろえていくことは難しい面があります。しかもテンポ良く進めていかなければ、割り当ての広い畑が終わりません。1日中お日様の下なので、根気と体力のいる作業でした。参加された利用者の皆さんお疲れさまでした。



新しい職員が増えました

たくま だい せいかつかいご せいかつしえんいん
詫間 大さん:生活介護 生活支援員

初めまして!4月から野の花の生活介護で皆さんと一緒に働くことになりました、詫間大です。ニックネームは「たくまックス」「マックス」です。高松の四国医療福祉専門学校で介護の勉強をしました。趣味は楽器の演奏と温泉巡りです。

まだまだ未熟でご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、精一杯頑張っていこうと思います。宜しくお願いします。



ふじた まき せいかつかいご せいかつしえんいん
藤田 真紀さん:生活介護 生活支援員

4月から野の花で働かせて頂く事になりました。以前は老人介護をしていました。事務や販売等を経て福祉の世界に飛び込んで6年になります。まだ仕事に慣れず、戸惑うこともありますが、気持ちはフレッシュで頑張りたいと思

っています。たくさん食べるので、体力には自信があり、元気と笑顔をもっとに頑張ります。皆様こんな私ですが、どうかよろしくお願致します。



新しい利用者さんを紹介します

今年度から継続B型に3名の新しい利用者が野の花の仲間になりました。

これから野の花で活躍できるように頑張ります。よろしくお願いします。

